

資料

京都市中心域に見出される小鍾馗像全探索 — 調査

池 田 進

A survey of small-sized Shoki statues on the roof of houses in the central region of Kyoto City

Susumu IKEDA

Abstract

Several houses in the west area of Japan have a small-sized Shoki statue on their roof. The present study found 401 such statues in the central region of Kyoto City.

Figure 1 shows the region covered in the present study. We have divided it into 6 divisions.

Figure 2 shows the limits of the divisions in the prescribed region.

Tables 1-1~1-6 catalogues all the pictures of statues found in each division. In the tables bold-face typed figures represent the one's individual number of each picture, and light-faced typed figures are the IDs of them (=serial photo numbers).

Figures 3-1~3-6 shows the locations of statues in corresponding division in the region.

Pictures of all statues in the region have been presented at the end part of the report.

Keywords: Shōki, Matiya, Kyoto

抄 録

西日本の広い範囲において住居の屋根の上に置かれた小さな鍾馗像を観察することができる。本調査では京都市中心域の町家の鍾馗像を撮影して401個の画像を得た。

図1に調査対象区域を示し、図2に調査対象区域を分割した6領域（X-I～Z-II）の区分と、区域全体の中で観察された全鍾馗像の位置を示した。

第1表（その1～その6）は分割領域ごとに整理した画像の整理番号と画像IDの記録台帳である。図3（3-1～3-6）は分割した領域ごとの画像の位置と整理番号、画像IDの表示である。

104ページから126ページにすべての画像を一覧した。

キーワード：鍾馗, 町家, 京都

京都市中を歩くと町家の通庇の上に置かれた小さな鍾馗像——瓦土で焼成された瓦人形——を目にすることがある。これら小鍾馗像の分布域は、諸地方独自のさまざまな変位を保ちながら九州から関東まで広い範囲にわたっているようであるが、包括的な調査研究はまだおこなわれていないのが現状ではないか。京都市内の古書店をまわって訊ねても答えは??であるし、よくて“20年ほどまえに写真集が出ていたような記憶があるが……”と

というのが関の山であった。

その“20年ほど前の写真集”というのはおそらく服部正実氏の『洛中洛外の鍾馗』（1996年7月、私家版）のことであろうと思う。その服部正実氏が今年の5月に、前作所載の作品若干を含めて2005年ころまでに撮影した作品をまとめた『私は瓦鍾馗』という楽しい読物を同じく私家版で出版された（服部正実（著）『私は瓦鍾馗』2018年5月、私家版、全85ページ）。いまこれを指して楽しい読物と書いたがその内実は「鍾馗」に関する既存の文献、資料に広くあたって書きおろされたオリジナルな研究書と言わねばならない。このほかには、小沢正樹氏が近畿西部あたりから東海地方までを機動的に探索して得た情報に基づいて著した鍾馗探訪のための手引書のような性格の書物がある（小沢正樹（著）『鍾馗さんを探せ!! 京都の屋根のちいさな守り神』淡交社、2012年4月）。これらの著書が共通に示しているところは、鍾馗像のきわめて高密度な分布が京都市内において見出されるという事実である。

私は2017年の年末から年始にかけて、市内中心部に区域を限ってすべての街路（小さな露地もいくつか含めて）を歩いて町々の状態を観察し、そのとき発見したすべての鍾馗像を撮影し、次第に範囲をひろげて市内中心域一定範囲の探索を終えた。そこでは総数360体余の小鍾馗像が記録された。

今回は前回探索の正確を期するためにあらかじめ調査区画と記録方法を明確に定めて再度の探索をおこなった。本報告はその再調査の結果の総括である。

全数調査というのは本来的に結果の精度を確率的に明示することができない。しかし現時点で調査対象母集団の特質を明確にする方法を見つけないことができないという理由で標本抽出調査を設計することは不可能であるから、とりあえずの全体把握を試みるという意味での全数調査はやむを得ないと考える。実際の再調査においては、前回探索での見落としと思われる複数の対象のあらたな検出があった。また、前回から今回調査までの間にあきらかに撤去ないし破棄されたと思われる対象もまた複数あった。現在ブルーシートで覆われていて確認することができなかったケースもあるし、前回検出した対象を確認に行ったところ重機でまさに取壊し開始直後という状況のケースもあった。再確認できなかったケースは今回調査結果からはもちろん除外した。逆に思いがけないところに隠れていて簡単には見つけることができなかったケースもあった。調査期間を過ぎてから新設を知らされた2、3のケースは今回結果の枠外として追補した。最終的に今回調査では、追補のケースを含めると401体の鍾馗像が検出された。

そういうわけでここに報告する今回調査の結果はおそらく一定サイズの不確定的誤差を

含むものであって、その誤差がどのような性質の誤差であるのか誤差がどのような大きさであるのかを推定する理論的根拠が保証されているものではない。記録ミスや整理ミスといった私自身による人為的誤差は含んではないと確信はするが、それを保証する根拠もまたどこにもない。（調査の実際はとてもそう簡単なものではない。）そういう意味でこの調査報告に関しては、特定調査区域と特定調査期間を限っての鳥瞰的状況の把握を得るための素描的情報であるとの位置づけを与えていただけるとありがたい。

1. 調査対象区域の設定

（1）設定された調査対象区域の概念図（図1）

調査対象区域は京都市の中心域にあたる中京区のおおよそ東半分と下京区北部の東一部分である。その区域の境界を図1の白の線枠で示した。おおよその目安は西限が堀川通、北限が丸太町通、東限が寺町通、南限が五条通によって囲まれた領域である。



図1 京都市中心域に設定された調査対象区域の範囲概念図（白色線枠で囲まれた区域）

(2) 設定された調査対象区域の詳細図 (図2)

図2は調査対象区域を6区の領域に区分した詳細図である。対象区域を烏丸通で東西2領域に分割してその西半をⅠ領域、東半をⅡ領域とした。区域の南北を御池通と四条通で3分割して北片をX領域、中片をY領域、南片をZ領域とした。この分割をもって調査対象区域は、X-Ⅰ (北片・西半)、X-Ⅱ (北片・東半)、Y-Ⅰ (中片・西半)、Y-Ⅱ (中片・東半)、Z-Ⅰ (南片・西半)、Z-Ⅱ (南片・東半) の6領域に区分された。

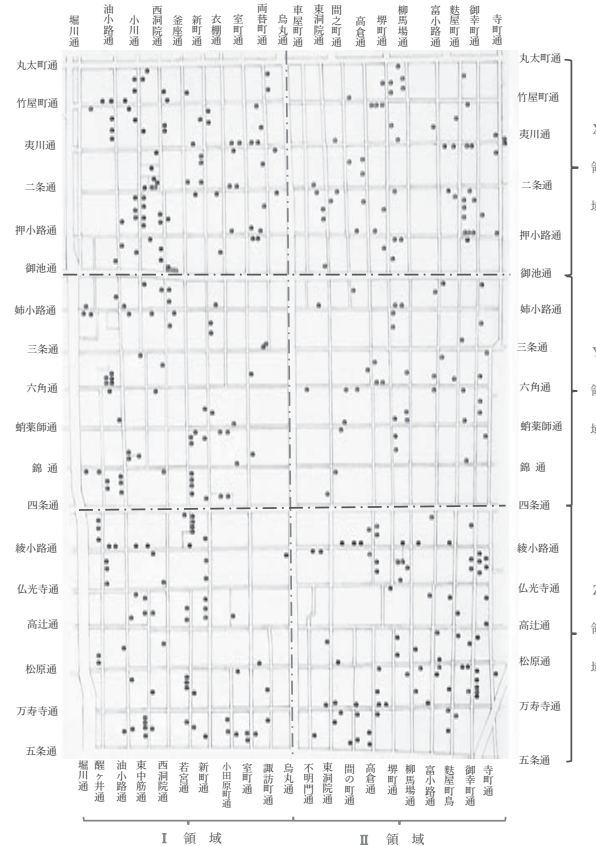


図2 京都市中心域対象区域内6領域の区分図

[領域区分の境界の設定基準についての注記]

調査対象区域の境界の設定基準と区域6分割のための境界の設定基準をめぐって、公正を期すために若干の注釈が必要である。今回調査の境界とした丸太町通と四条通と

寺町通を例にして説明しよう。

区域区分、領域区分の境界である丸太町通と四条通は行政区画としての区の境界でもある。区境としての丸太町通では、通に面する北側の家々は北の上京区にではなくて南の中京区に帰属する。同じく四条通では、通に面する北側の家々は北の中京区にではなくて南の下京区に帰属する。つまり通の家々は両隣同志がまとまるだけではなくて、通に面して向い合う向三軒両隣の家々が一つの町内としてまとまって機能する「両側町」を形成している。行政区画としての区境はこの中世以来の京都の都市生活単位形成の伝統を踏襲した形で制定されている。したがって例えば「丸太町通を境として」という言い方では正確さを欠くことになる。今回の調査区域の北の限界を正確に規定しようとするならば、そこは「丸太町通の中央ラインを想定」したものとなる。同様にY領域とZ領域を分かつ境界設定の基準は中京と下京の間のいわゆる四条通ではなくて四条通の中央ラインである。この基準に反して調査区域の東の限界は寺町通に面する東側と西側両側の家々が形成する両側町を併せた街区を基準として設定された。だから結果的には今回調査での対象区域限界と領域6分割のための境界線の設定は、このような2様の基準の恣意的な選択を含んでいることになる。いいかえれば、‘四条通を境にして’と言ったときには市営バスが走っている（昔なら電車通りの）広い道という視覚的要素と信号が変わるのを待たないと渡れないといった都市のユティリティ本位の原理による分割であり、‘寺町通を境にして’と言ったときには散策やショッピングで気楽に‘Just-looking’できる（中世以来の両側町よりなる）生活本位の道路というもういっぽうの利便性に立つ分割である。さらに言い換えるならば、昭和十三年都市計画における都市計画路線22m道路か否かの選択である。ちなみに烏丸通は既設の昭和十三年都市計画路線であり、堀川通と五条通と御池通は戦争末期昭和20年（1945年）の家屋強制疎開跡を1957年から1959年にかけて拡幅整備した都市計画路線であり、それに対して、寺町通は（たとえ明治のなかばに二条以北をチンチン電車が走っていたとしても）古来の両側町を通り抜ける生活道路である。

今回調査の鍾馗像の分布状況を決定しようとする場合において、このような境界設定基準の恣意性（両側町の片側をどちら側の領域に帰属させるか）が問題を及ぼすことになりかねない実際の事例としては、烏丸通に面する西側の町並みに1体、御池通に面する北側の町並みに5体、四条通に面する南側の町並みに1体の鍾馗像が現存する。寺町通には通りの東側に3体があるから、もし境界線を寺町通の中央線におくとするこの東側3体は除外しなければならないということになる。

2. 調査の方法

調査の方法は、区域内の碁盤目状配置の通のすべてを徒歩によって組織的に探索して、撮影した鍾馗像の位置を手許の白地図にマークし、画像ID（撮像番号）をそこに並記した。（調査結果の項に掲げた図3の形式は、調査時のこの記録原票がもとにあってそれを整えて清書したときの体裁に拠っている。）

京都の街区を歩くと1ブロックに必ず1か所といってよいほどシートで囲われたり重機が掘り返したりしている工事現場があって、近年にないスピードで町並みの変化が進行しているのがわかる。逆に言えば、極端に言えば、明日には町がどうなっているかわからない状況とも言える。したがって、探索の調査結果が期間内の安定性を保つためには実査の即時性ができるかぎり保持されなければならないから、そのために調査区画内の1つの領域の探査は原則的に1日ないし2日で終わるように努力した。

3. 調査期間（第1表参照）

2018年5月18日～8月8日

〔実働〕 5月：4日間 6月：4日間 7月：3日間 8月：1日 計12日間

詳細は第1表（その1）から第1表（その6）までの第1欄に記載した。

4. 調査の結果

（1）京都市中心域における鍾馗像撒布状況の概観（図2 94ページ参照）

図2に京都市中心域での鍾馗像の撒布状況が一瞥できるように表示した。図中に打たれた1個の点が1体の鍾馗像のおおよその検出位置を表している。

（2）鍾馗像画像台帳の作成（第1表 98ページ～100ページ参照）

第1表（その1）～（その6）は調査期間内に検出・撮影されたすべての鍾馗像に与えた画像番号とその画像ID（撮像番号）を領域区分ごとに一覧した画像台帳である。すなわち

第1表（その1）は領域区分X-I（北片・西半）、画像総数78体（欠番1）

第1表（その2）は領域区分X-II（北片・東半）、画像総数57体

第1表（その3）は領域区分Y-I（中片・西半）、画像総数59体

第1表（その4）は領域区分Y-II（中片・東半）、画像総数46体

第1表（その5）は領域区分Z-I（南片・西半）、画像総数79体

第1表（その6）は領域区分Z-II（南片・東半）、画像総数79体 画像総数398体

第1表各表の第1欄に当該領域区分内の画像の総数、各画像の撮影日を記載した。

第1表各表の第2欄から第5欄に各画像の当該領域区分内画像番号と画像IDをそれぞれ太字と斜体細字で記載した。

（3）市内鍾馗像撒布状況詳細図（図3 101ページ～103ページ参照）

図3-1から図3-6は図2撒布状況概観図の各領域区分ごと鍾馗像の撒布状況詳細図である。各詳細図では、街路に沿って打たれた個々のマーク脇に区分内画像番号と画像IDが太字大文字と斜体小文字で印字され、画像台帳（第1表その1～その6）の記載と照合することができるようになっている。

（4）市内鍾馗像画像総覧（104ページ～126ページ）

104ページから126ページに今回調査で検出・撮影されたすべての鍾馗像の画像を総集した。

各画像の下部に、画像の撒布領域区分の符号（X-I～Z-IIで示す）、領域区分内画像番号（太字大文字で示す）、画像ID（斜体細字で示す）を注記した。これによって個々の画像を画像台帳（第1表）、撒布状況詳細図（図3）に対応させることができる。

第1表 撒布鍾道像画像台帳（その1）撒布領域区分X-I：北片・西半

撒布領域区分	画像番号	画像ID	画像番号	画像ID	画像番号	画像ID	画像番号	画像ID
X-I (北片・西半)	1	5984	21	5989	41	6021	61	6010
	2	5983	22	5988	42	欠番	62	6009
区分内画像数	3	5982	23	6019	43	6024	63	6008
$N(x-I)=78$	4	5985	24	5992	44	6025	64	6006
撮影日時	5	5986	25	5991	45	6026	65	5964
	6	5987	26	5990	46	6028	66	5962
5984~6050	7	5981	27	6040	47	6029	67	5963
2018.5.22	8	5980	28	6039	48	6030	68	6005
	9	5975	29	6038	49	5993	69	6007
撮影データ	10	5976	30	6041	50	6015	70	6000
	11	5974	31	6036	51	5967	71	6001
省略	12	5972	32	6042	52	5965	72	6004
	13	5973	33	6034	53	5966	73	6055
	14	5971	34	6033	54	6013	74	6051
	15	5970	35	6031	55	6014	75	6047
	16	5969	36	6043	56	5998	76	6046
	17	5968	37	6044	57	5997	77	6053
	18	5979	38	6045	58	5999	78	6048
	19	5978	39	6020	59	6011	79	6050
	20	5977	40	6022	60	6012	80	空欄

調査期限後に追補する画像 80 6359；81 1369；82 1354

第1表 撒布鍾道像画像台帳（その2）撒布領域区分X-II：北片・東半

撒布領域区分	画像番号	画像ID	画像番号	画像ID	画像番号	画像ID	画像番号	画像ID
X-II (北片・東半)	1	5961	21	5926	41	5941	61	
	2	5929	22	5927	42	5944	62	
区分内画像数	3	5960	23	5888	43	5942	63	
$N(x-II)=57$	4	5959	24	5891	44	5943	64	
撮影日時	5	5900	25	5901	45	5906	65	
	6	5930	26	5892	46	5918	66	
5888~5919	7	5931	27	5905	47	5907	67	
2018.5.18	8	5932	28	5899	48	5909	68	
	9	5936	29	5895	49	5917	69	
5926~5961	10	5937	30	5897	50	5916	70	
2018.5.21	11	5938	31	5894	51	5915	71	
	12	5958	32	5893	52	5910	72	
撮影データ	13	5935	33	5955	53	5914	73	
	14	5934	34	5950	54	5913	74	
省略	15	5933	35	5940	55	5912	75	
	16	5956	36	5939	56	5911	76	
	17	5903	37	5952	57	5919	77	
	18	5902	38	5951	58	以下空欄	78	
	19	5904	39	5949	59		79	
	20	5928	40	5948	60		80	

京都市中心域に見出される小鍾馗像全探索 ― 調査（池田）

第1表 撒布鍾馗像画像台帳（その3）撒布領域区分Y-I：中片・西半

撒布領域区分	画像番号	画像ID	画像番号	画像ID	画像番号	画像ID	画像番号	画像ID
Y-I (中片・西半)	1	6102	21	6098	41	6076	61	
	2	6101	22	9097	42	6072	62	
区内画像数	3	6100	23	6096	43	6071	63	
$N(Y-I)=59$	4	6103	24	6118	44	6070	64	
	5	6105	25	6116	45	6069	65	
撮影日時	6	6106	26	6117	46	6063	66	
6059~6122	7	6099	27	6088	47	6062	67	
2018.5.24	8	6090	28	6086	48	6064	68	
撮影データ	9	6092	29	6087	49	6066	69	
	10	6091	30	6085	50	6061	70	
省略	11	6093	31	6083	51	6059	71	
	12	6094	32	6084	52	6060	72	
	13	6089	33	6082	53	6065	73	
	14	6107	34	6081	54	6121	74	
	15	6111	35	6078	55	6122	75	
	16	6108	36	6079	56	6067	76	
	17	6109	37	6080	57	6068	77	
	18	6110	38	6074	58	6120	78	
	19	6113	39	6077	59	6119	79	
	20	6112	40	6075	60	以下空欄	80	

第1表 撒布鍾馗像画像台帳（その4）撒布領域区分Y-II：中片・東半

撒布領域区分	画像番号	画像ID	画像番号	画像ID	画像番号	画像ID	画像番号	画像ID
Y-II (中片・東半)	1	6164	21	6172	41	6132	61	
	2	6163	22	6173	42	6131	62	
区内画像数	3	6171	23	6145	43	6130	63	
$N(Y-II)=46$	4	6155	24	6144	44	6183	64	
	5	6156	25	6141	45	6180	65	
撮影日時	6	6157	26	6139	46	6181	66	
6129~6158	7	6158	27	6136	47	以下空欄	67	
2018.6.28	8	6159	28	6129	48		68	
6159~6183	9	6142	29	6178	49		69	
2018.6.30	10	6143	30	6179	50		70	
撮影データ	11	6138	31	6151	51		71	
	12	6154	32	6146	52		72	
省略	13	6137	33	6147	53		73	
	14	6165	34	6150	54		74	
	15	6153	35	6149	55		75	
	16	6166	36	6148	56		76	
	17	6167	37	6140	57		77	
	18	6160	38	6135	58		78	
	19	6175	39	6134	59		79	
	20	6176	40	6133	60		80	

第1表 撒布鍾道像画像台帳（その5）撒布領域区分Z-I：南片・西半

撒布領域区分	画像番号	画像ID	画像番号	画像ID	画像番号	画像ID	画像番号	画像ID
Z-I	1	<i>1140</i>	21	<i>1084</i>	41	<i>1154</i>	61	<i>1106</i>
(南片・西半)	2	<i>1141</i>	22	<i>1085</i>	42	<i>1227</i>	62	<i>1089</i>
区分内画像数	3	<i>1142</i>	23	<i>1086</i>	43	<i>1163</i>	63	<i>1230</i>
$N(Z-I)=79$	4	<i>1143</i>	24	<i>1087</i>	44	<i>1220</i>	64	<i>1088</i>
	5	<i>1145</i>	25	<i>1174</i>	45	<i>1221</i>	65	<i>1092</i>
撮影日時	6	<i>1146</i>	26	<i>1159</i>	46	<i>1222</i>	66	<i>1091</i>
<i>1074~1174</i>	7	<i>1139</i>	27	<i>1160</i>	47	<i>1223</i>	67	<i>1090</i>
2018.6.13	8	<i>1138</i>	28	<i>1158</i>	48	<i>1170</i>	68	<i>1187</i>
<i>1186;1187</i>	9	<i>1137</i>	29	<i>1161</i>	49	<i>1169</i>	69	<i>1193</i>
2018.6.26	10	<i>1136</i>	30	<i>1162</i>	50	<i>1225</i>	70	<i>1229</i>
<i>1216~1229</i>	11	<i>1135</i>	31	<i>1133</i>	51	<i>1224</i>	71	<i>1096</i>
2018.7.30	12	<i>1186</i>	32	<i>1131</i>	52	<i>1172</i>	72	<i>1103</i>
<i>1230~1235</i>	13	<i>1081</i>	33	<i>1152</i>	53	<i>1114</i>	73	<i>1105</i>
2018.8.8	14	<i>1074</i>	34	<i>1153</i>	54	<i>1113</i>	74	<i>1097</i>
	15	<i>1075</i>	35	<i>1130</i>	55	<i>1112</i>	75	<i>1104</i>
撮影データ	16	<i>1076</i>	36	<i>1129</i>	56	<i>1111</i>	76	<i>1101</i>
省略	17	<i>1077</i>	37	<i>1226</i>	57	<i>1110</i>	77	<i>1102</i>
	18	<i>1078</i>	38	<i>1216</i>	58	<i>1109</i>	78	<i>1233</i>
	19	<i>1082</i>	39	<i>1155</i>	59	<i>1107</i>	79	<i>1235</i>
	20	<i>1083</i>	40	<i>1218</i>	60	<i>1108</i>	80	空欄

第1表 撒布鍾道像画像台帳（その6）撒布領域区分Z-II：南片・東半

布領域区分	画像番号	画像ID	画像番号	画像ID	画像番号	画像ID	画像番号	画像ID
Z-II	1	<i>6185</i>	21	<i>6201</i>	41	<i>6261</i>	61	<i>6239</i>
(南片・東半)	2	<i>6186</i>	22	<i>6202</i>	42	<i>6263</i>	62	<i>1198</i>
区分内画像数	3	<i>6187</i>	23	<i>6203</i>	43	<i>6262</i>	63	<i>6214</i>
$N(Z-II)=79$	4	<i>6190</i>	24	<i>6206</i>	44	<i>6268</i>	64	<i>6238</i>
	5	<i>6188</i>	25	<i>6204</i>	45	<i>6267</i>	65	<i>6217</i>
撮影日時	6	<i>6189</i>	26	<i>6205</i>	46	<i>6269</i>	66	<i>6237</i>
<i>6185~6280</i>	7	<i>6191</i>	27	<i>6207</i>	47	<i>6270</i>	67	<i>6233</i>
2018.7.10	8	<i>6198</i>	28	<i>6208</i>	48	<i>6257</i>	68	<i>6232</i>
<i>1198~1200</i>	9	<i>6197</i>	29	<i>6209</i>	49	<i>6258</i>	69	<i>6231</i>
2018.7.17	10	<i>6196</i>	30	<i>6210</i>	50	<i>6260</i>	70	<i>6218</i>
	11	<i>6243</i>	31	<i>6211</i>	51	<i>6259</i>	71	<i>6212</i>
撮影データ	12	<i>6244</i>	32	<i>6278</i>	52	<i>6254</i>	72	<i>6213</i>
省略	13	<i>6194</i>	33	<i>6277</i>	53	<i>6253</i>	73	<i>6225</i>
	14	<i>6193</i>	34	<i>6276</i>	54	<i>6256</i>	74	<i>6226</i>
	15	<i>6199</i>	35	<i>6274</i>	55	<i>6255</i>	75	<i>6227</i>
	16	<i>1200</i>	36	<i>6275</i>	56	<i>6245</i>	76	<i>6224</i>
	17	<i>6200</i>	37	<i>6273</i>	57	<i>6247</i>	77	<i>6228</i>
	18	<i>6242</i>	38	<i>6280</i>	58	<i>6249</i>	78	<i>6229</i>
	19	<i>6241</i>	39	<i>6272</i>	59	<i>6250</i>	79	<i>6216</i>
	20	<i>6240</i>	40	<i>6271</i>	60	<i>6246</i>	80	空欄

京都市中心域に見出される小鍾馗像全探索 ― 調査（池田）

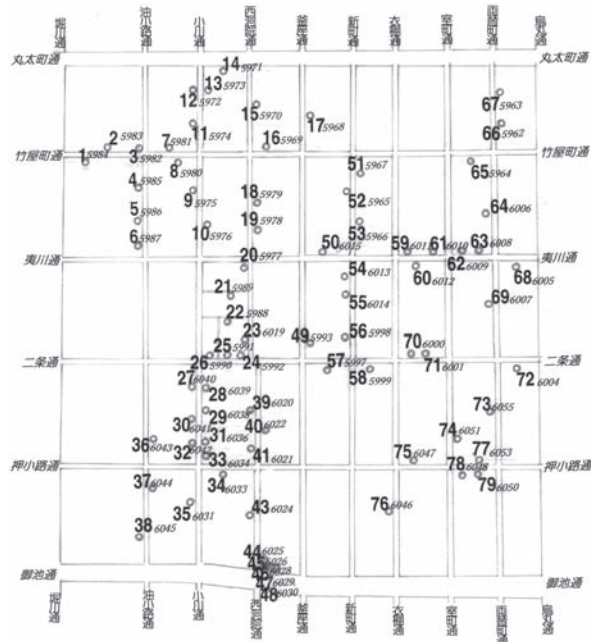


図 3-1 京都市中心域鍾馗像撒布状況詳細図（その 1）撒布領域区分 X-I

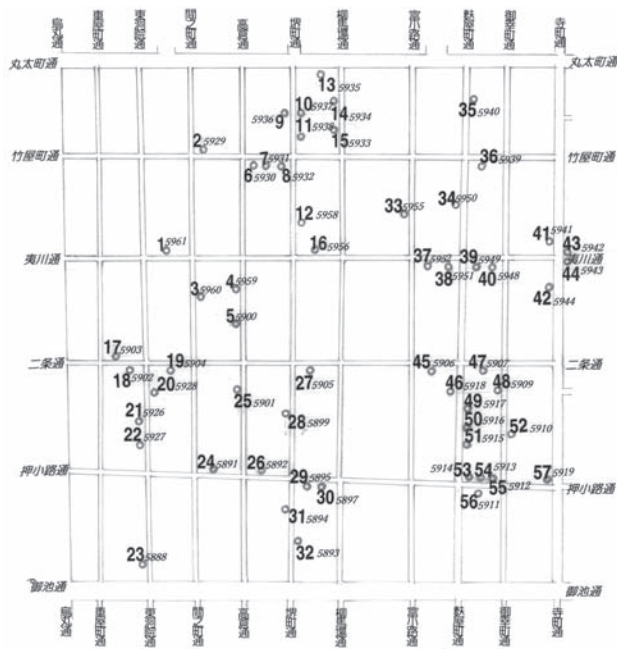


図 3-2 京都市中心域鍾馗像撒布状況詳細図（その 2）撒布領域区分 X-II

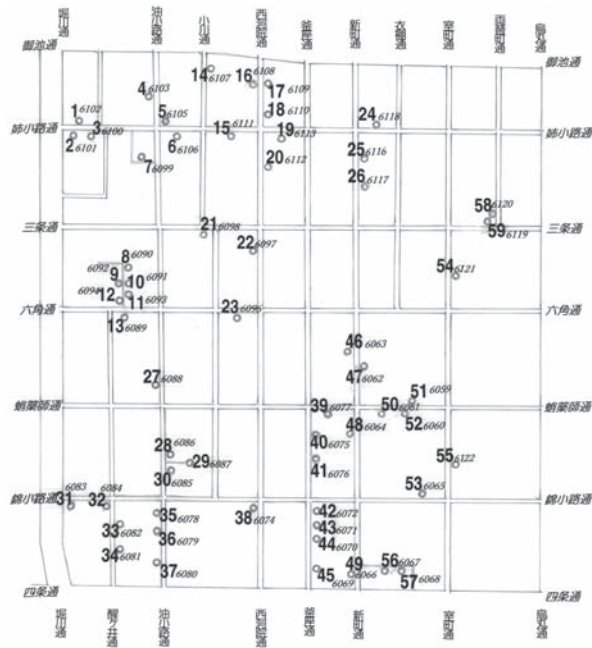


図3-3 京都市中心域鍾道像撒布状況詳細図（その3）撒布領域区分Y-I

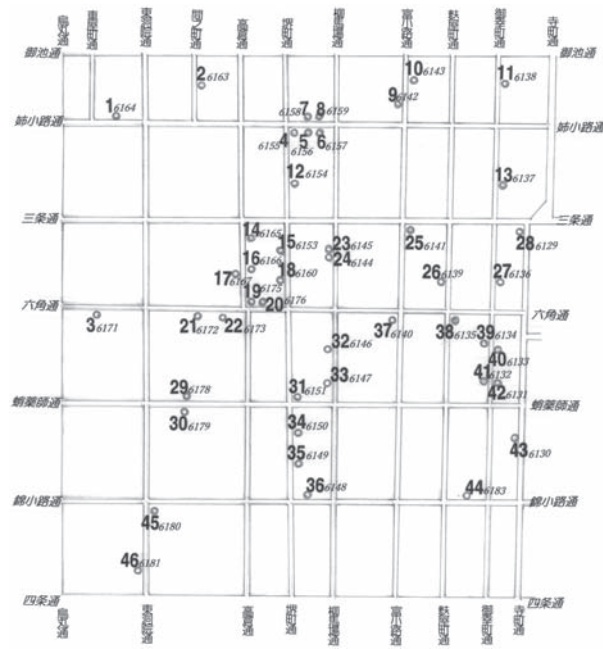


図3-4 京都市中心域鍾道像撒布状況詳細図（その4）撒布領域区分Y-II

京都市中心域に見出される小鍾馗像全探索 ― 調査（池田）

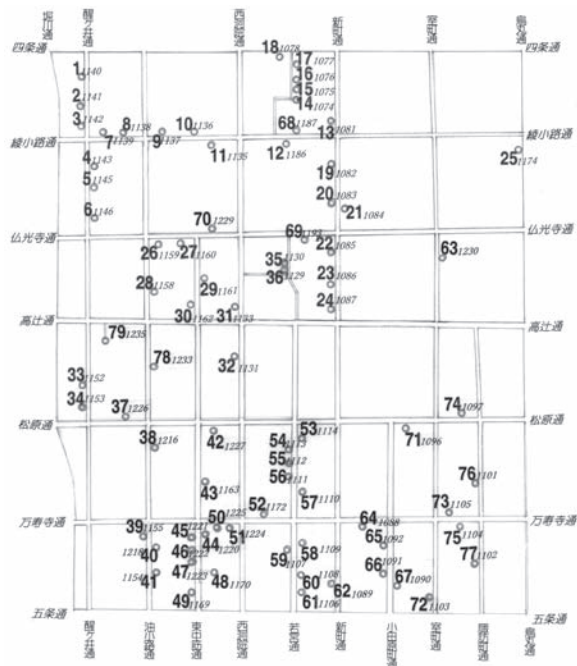


図 3-5 京都市中心域鍾馗像撒布状況詳細図（その 5）撒布領域区分 Z-I

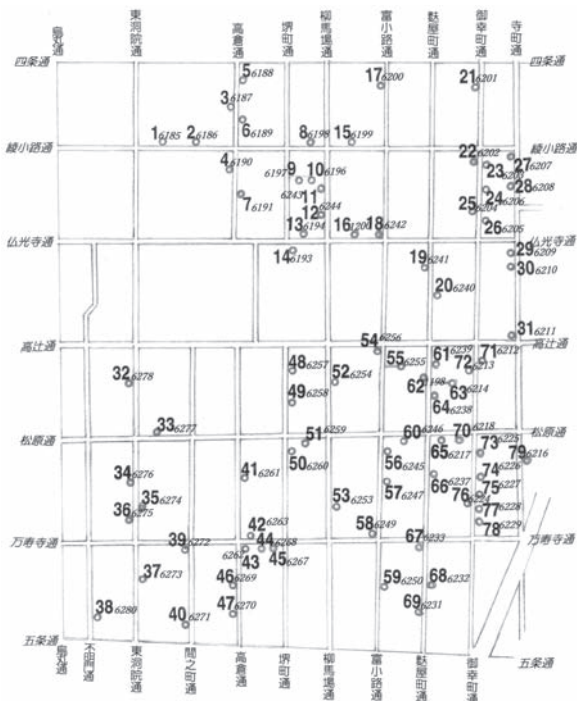
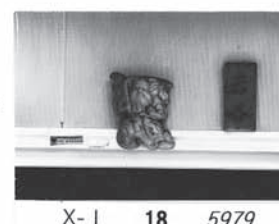
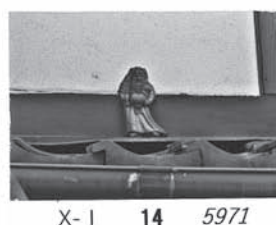
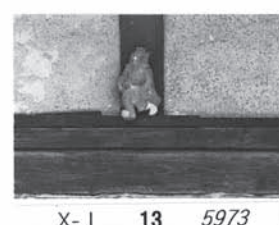
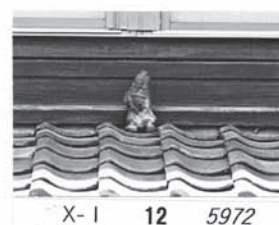
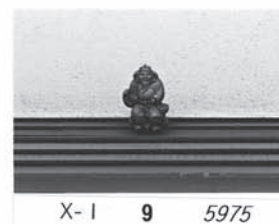
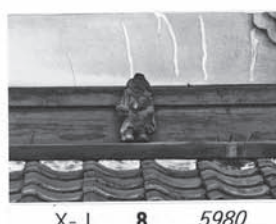
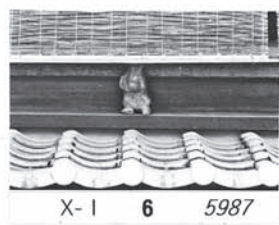
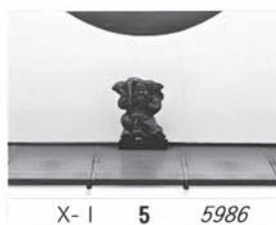
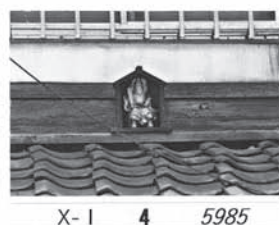
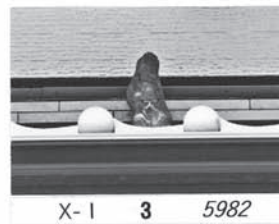
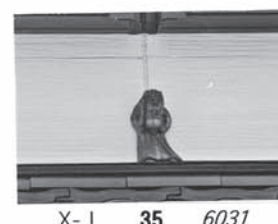
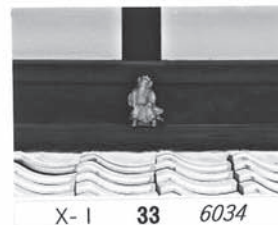
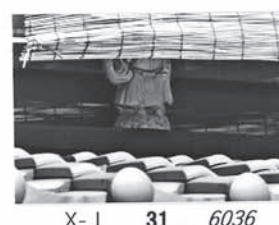
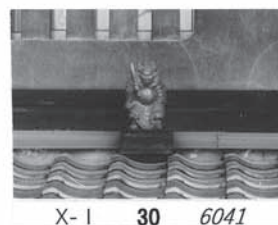
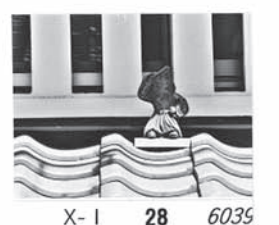
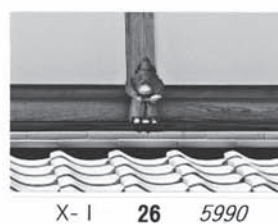
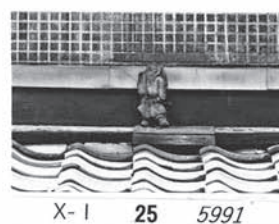
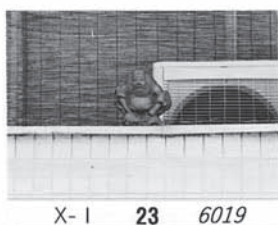
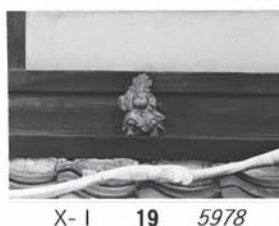
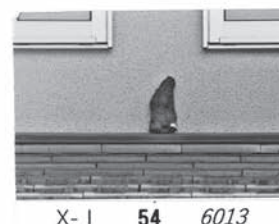
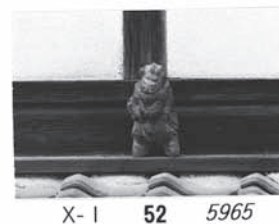
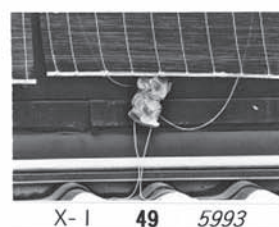
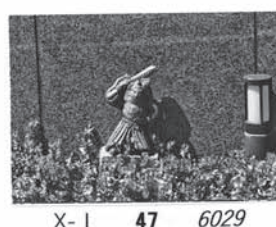
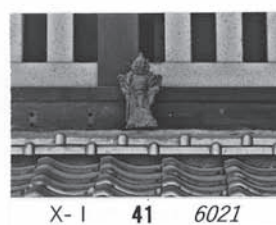
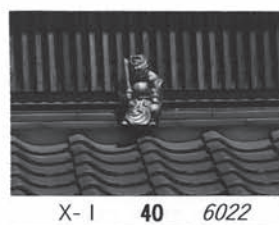
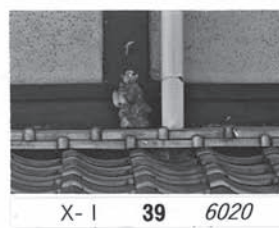
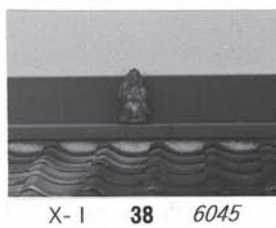


図 3-6 京都市中心域鍾馗像撒布状況詳細図（その 6）撒布領域区分 Z-II



京都市中心域に見出される小鍾馗像全探索 ― 調査（池田）





京都市中心域に見出される小鍾馗像全探索 ― 調査（池田）



X- I 55 6014



X- I 56 5998



X- I 57 5997



X- I 58 5999



X- I 59 6011



X- I 60 6012



X- I 61 6010



X- I 62 6009



X- I 63 6008



X- I 64 6006



X- I 65 5964



X- I 66 5962



X- I 67 5963



X- I 68 6005



X- I 69 6007



X- I 70 6000



X- I 71 6001



X- I 72 6004



X-I 73 6055



X-I 74 6051



X-I 75 6047



X-I 76 6046



X-I 77 6053



X-I 78 6048



X-I 79 6050



X-II 1 5961



X-II 2 5929



X-II 3 5960



X-II 4 5959



X-II 5 5900



X-II 6 5930



X-II 7 5931



X-II 8 5932



X-II 9 5936



X-II 10 5937



X-II 11 5938



X-II 12 5958



X-II 13 5935



X-II 14 5934



X-II 15 5933



X-II 16 5956



X-II 17 5903



X-II 18 5902



X-II 19 5904



X-II 20 5928



X-II 21 5926



X-II 22 5927



X-II 23 5888



X-II 24 5891



X-II 25 5901



X-II 26 5892



X-II 27 5905



X-II 28 5899



X-II 29 5895



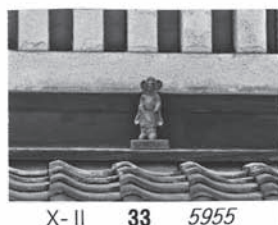
X-II 30 5897



X-II 31 5894



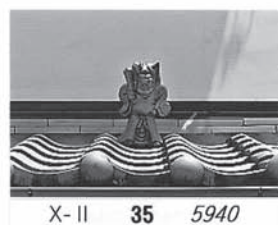
X-II 32 5893



X-II 33 5955



X-II 34 5950



X-II 35 5940



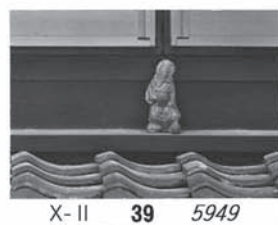
X-II 36 5939



X-II 37 5952



X-II 38 5951



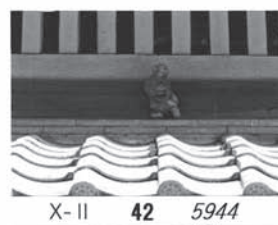
X-II 39 5949



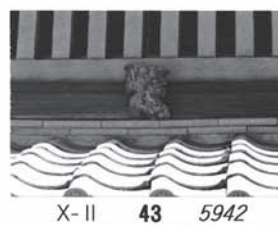
X-II 40 5948



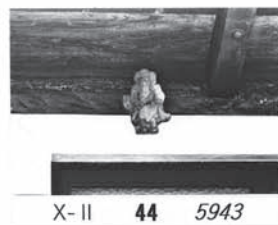
X-II 41 5941



X-II 42 5944



X-II 43 5942



X-II 44 5943



X-II 45 5906



X-II 46 5918



X-II 47 5907



X-II 48 5909



X-II 49 5917



X-II 50 5916



X-II 51 5915



X-II 52 5910



X-II 53 5914



X-II 54 5913



X-II 55 5912



X-II 56 5911



X-II 57 5919



Y-I 1 6102



Y-I 2 6101



Y-I 3 6100



Y-I 4 6103



Y-I 5 6105



Y-I 6 6106



Y-I 7 6099



Y-I 8 6090



Y-I 9 6092



Y-I 10 6091



Y-I 11 6093



Y-I 12 6094



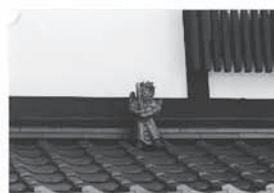
Y-I 13 6089



Y-I 14 6107



Y-I 15 6111



Y-I 16 6108



Y-I 17 6109



Y-I 18 6110



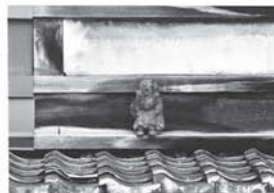
Y-I 19 6113



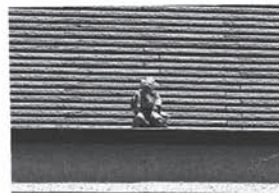
Y-I 20 6112



Y-I 21 6098



Y-I 22 9097



Y-I 23 6096



Y-I 24 6118



Y-I 25 6116



Y-I 26 6117

京都市中心域に見出される小鍾馗像全探索 ― 調査（池田）



Y-I 27 6088



Y-I 28 6086



Y-I 29 6087



Y-I 30 6085



Y-I 31 6083



Y-I 32 6084



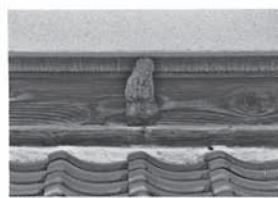
Y-I 33 6082



Y-I 34 6081



Y-I 35 6078



Y-I 36 6079



Y-I 37 6080



Y-I 38 6074



Y-I 39 6077



Y-I 40 6075



Y-I 41 6076



Y-I 42 6072



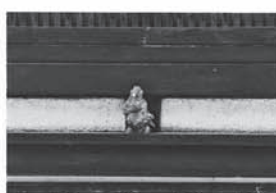
Y-I 43 6071



Y-I 44 6070



Y-I 45 6069



Y-I 46 6063



Y-I 47 6062



Y-I 48 6064



Y-I 49 6066



Y-I 50 6061



Y-I 51 6059



Y-I 52 6060



Y-I 53 6065



Y-I 54 6121



Y-I 55 6122



Y-I 56 6067



Y-I 57 6068



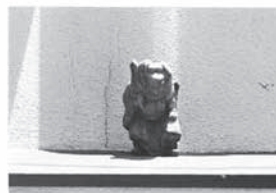
Y-I 58 6120



Y-I 59 6119



Y-II 1 6164

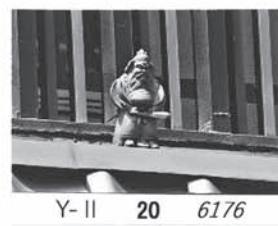
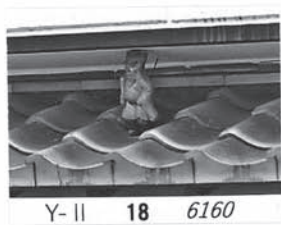
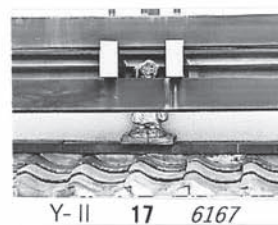
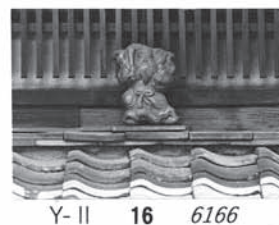
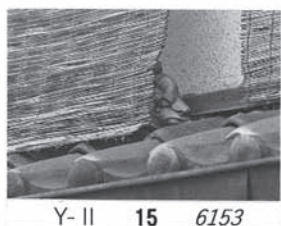
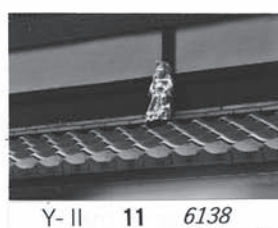
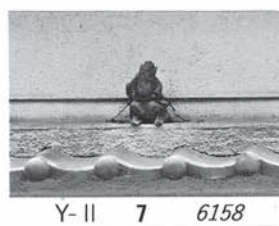
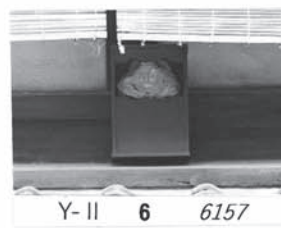
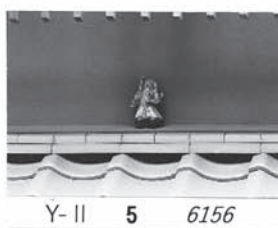
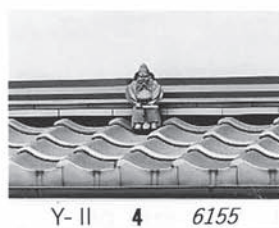


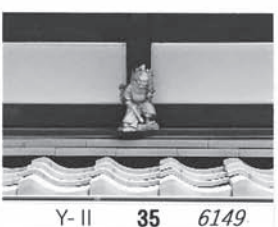
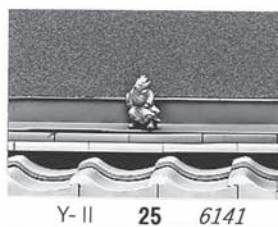
Y-II 2 6163

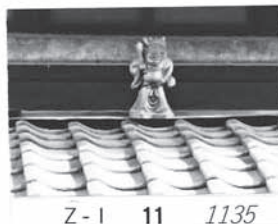
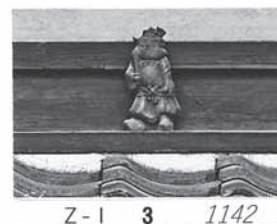
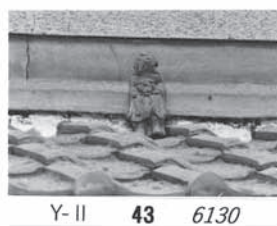


Y-II 3 6171

京都市中心域に見出される小鍾馗像全探索 ― 調査（池田）









Z-1 12 1186



Z-1 13 1081



Z-1 14 1074



Z-1 15 1075



Z-1 16 1076



Z-1 17 1077



Z-1 18 1078



Z-1 19 1082



Z-1 20 1083



Z-1 21 1084



Z-1 22 1085



Z-1 23 1086



Z-1 24 1087



Z-1 25 1174



Z-1 26 1159



Z-1 27 1160



Z-1 28 1158



Z-1 29 1161

京都市中心域に見出される小鍾馗像全探索 ― 調査（池田）



Z-I 30 1162



Z-I 31 1133



Z-I 32 1131



Z-I 33 1152



Z-I 34 1153



Z-I 35 1130



Z-I 36 1129



Z-I 37 1226



Z-I 38 1216



Z-I 39 1155



Z-I 40 1218



Z-I 41 1154



Z-I 42 1227



Z-I 43 1163



Z-I 44 1220



Z-I 45 1221



Z-I 46 1222



Z-I 47 1223



Z-I 48 1170



Z-I 49 1169



Z-I 50 1225



Z-I 51 1224



Z-I 52 1172



Z-I 53 1114



Z-I 54 1113



Z-I 55 1112



Z-I 56 1111



Z-I 57 1110



Z-I 58 1109



Z-I 59 1107



Z-I 60 1108



Z-I 61 1106



Z-I 62 1089



Z-I 63 1230



Z-I 64 1088



Z-I 65 1092

京都市中心域に見出される小鍾馗像全探索 ― 調査（池田）



Z - I 66 1091



Z - I 67 1090



Z - I 68 1187



Z - I 69 1193



Z - I 70 1229



Z - I 71 1096



Z - I 72 1103



Z - I 73 1105



Z - I 74 1097



Z - I 75 1104



Z - I 76 1101



Z - I 77 1102



Z - I 78 1233



Z - I 79 1235



Z - II 1 6185



Z - II 2 6186



Z - II 3 6187



Z - II 4 6190



Z-II 5 6188



Z-II 6 6189



Z-II 7 6191



Z-II 8 6198



Z-II 9 6197



Z-II 10 6196



Z-II 11 6243



Z-II 12 6244



Z-II 13 6194



Z-II 14 6193



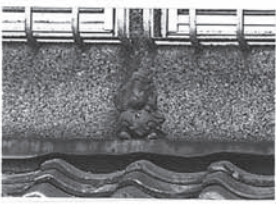
Z-II 15 6199



Z-II 16 1200



Z-II 17 6200



Z-II 18 6242



Z-II 19 6241



Z-II 20 6240



Z-II 21 6201



Z-II 22 6202

京都市中心域に見出される小鍾馗像全探索 ― 調査（池田）



Z-II 23 6203



Z-II 24 6206



Z-II 25 6204



Z-II 26 6205



Z-II 27 6207



Z-II 28 6208



Z-II 29 6209



Z-II 30 6210



Z-II 31 6211



Z-II 32 6278



Z-II 33 6277



Z-II 34 6276



Z-II 35 6274



Z-II 36 6275



Z-II 37 6273



Z-II 38 6280



Z-II 39 6272



Z-II 40 6271



Z-II 41 6261



Z-II 42 6263



Z-II 43 6262



Z-II 44 6268



Z-II 45 6267



Z-II 46 6269



Z-II 47 6270



Z-II 48 6257



Z-II 49 6258



Z-II 50 6260



Z-II 51 6259



Z-II 52 6254



Z-II 53 6253



Z-II 54 6256



Z-II 55 6255



Z-II 56 6245

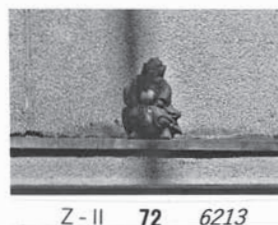
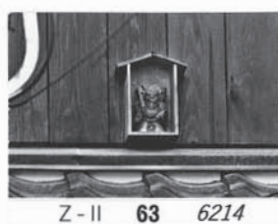


Z-II 57 6247



Z-II 58 6249

京都市中心域に見出される小鍾馗像全探索 ― 調査（池田）





(鍾馗像画像総覧了)

5. 調査期間を過ぎて検知された事例の追補

(1) 399番目の鍾馗 (X-I 80 6359)

中京区室町通の某氏邸住居の改修を機に、今年（2018年）の8月、あらたにみごとな鍾馗像が飾られた。この鍾馗像の画像を〔Z-I 80 6359〕として台帳に追補する。

この像は下の写真に見ることができ、いくつかの型をつかって造られた手の込んだ作品で、底の部分に制作者の署名と製作日が記されている。

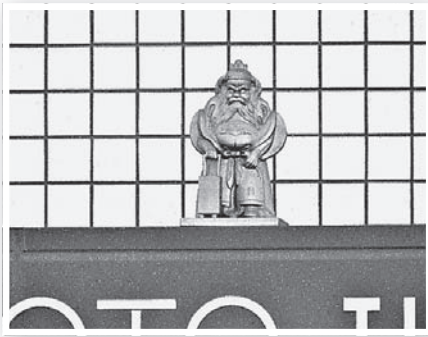


X-I 80 6359



(2) 400番目と401番目の鍾馗（X-I 81 1369）；（X-I 82 1354）

次に追補する2体の鍾馗像は、1体〔X-I 81 1369〕が丸太町通に沿った某ホテルのエントランスの上に、もう1体〔X-I 82 1354〕が同ホテルの中庭に置かれた同型の鍾馗像である。この2体はここ2～3年の京都の町が見舞われている極端ないわゆるインバウンドを反映した珍しい形に造られている。この2体はどちらも剣はどこかに置いてきて、かわりに車輪がついた旅行鞆を手にして中国から只今到着という顔をしている。



X-I 81 1369



X-I 82 1354

—2018.10.9受稿—